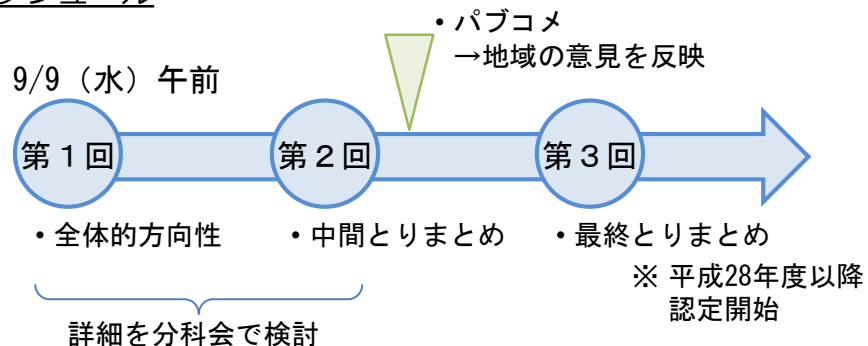


- 観光、海外、広報の有識者による検討会を設置し、多様な「地域の食」の魅力を効果的に海外発信するため、重点地域を「食と農の景勝地（仮称）」として認定する仕組みを創設し、関連施策で後押し。

「食と農の景勝地（仮称）」検討委員会

スケジュール



有識者委員

委員長 寺島実郎

（一般財団法人日本総合研究所理事長）

委員 加藤 誠

（株式会社ジェイティービー観光戦略部長）

委員 金井 健

（全国農業協同組合中央会常務理事）

委員 久保証一郎

（株式会社ぐるなび代表取締役社長）

委員 残間里江子

（株式会社キャンディッド・コミュニケーションズ
代表取締役会長）

委員 田中里沙

（株式会社宣伝会議取締役副社長兼編集室長）

委員 デービッド・アトキンソン

（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）

委員 トム・ヴィンセント

（株式会社Tonoloop Networks
代表取締役社長）

委員 畠 利行

（福島県副知事）

委員 福田育弘

（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

委員 矢ヶ崎紀子

（東洋大学国際地域学部准教授）

委員 渡部明央

（一般社団法人日本ソムリエ協会常務理事）

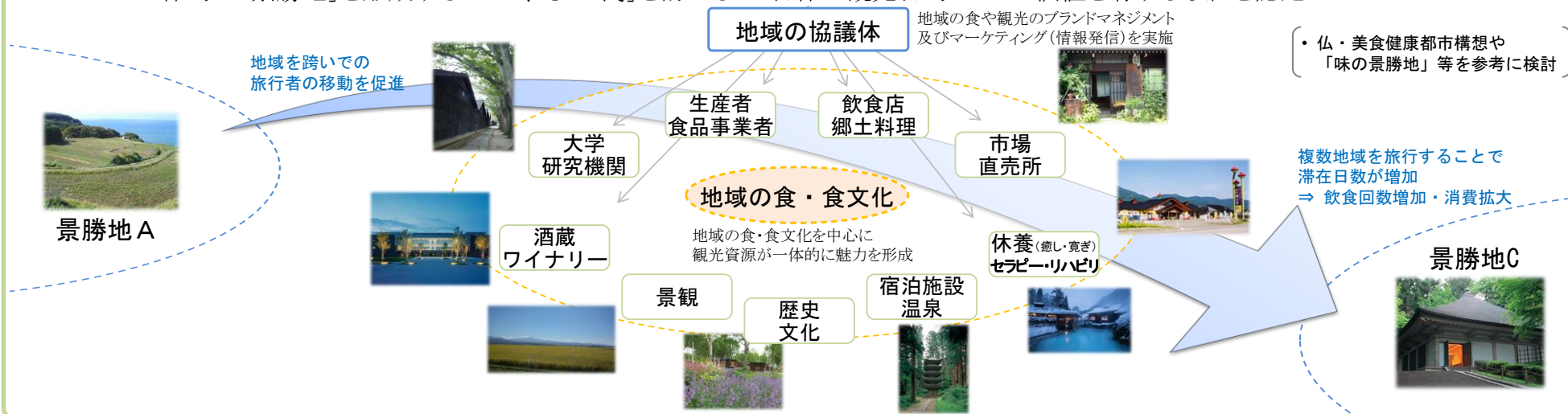
委員 渡邊賢一

（一般社団法人元気ジャパン代表理事）

関係省庁等（内閣官房、総務省、文化庁、経済産業省、観光庁、JNTO）

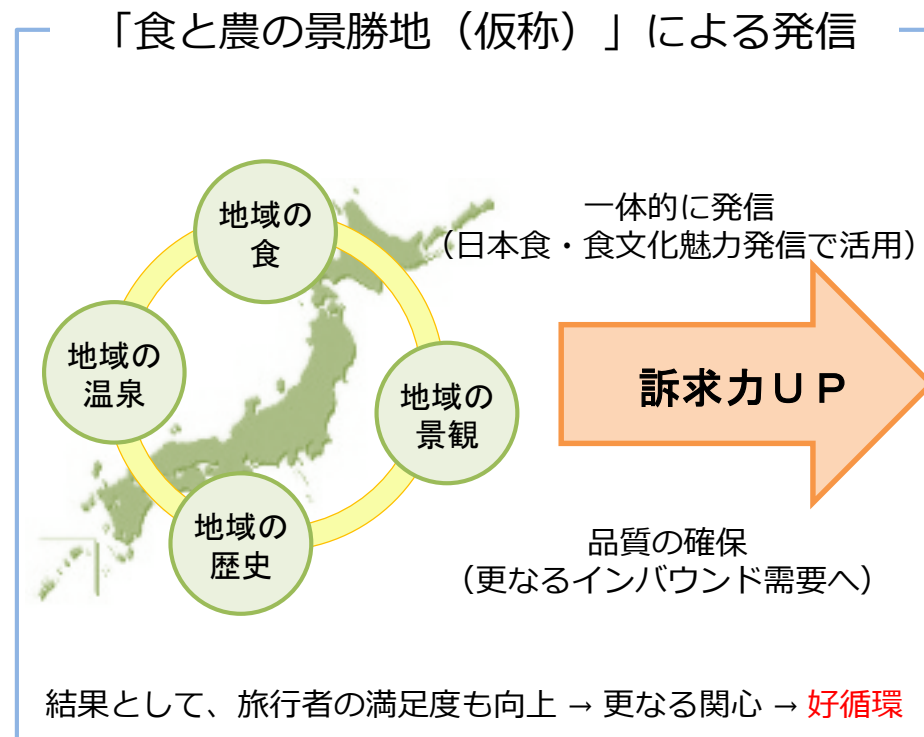
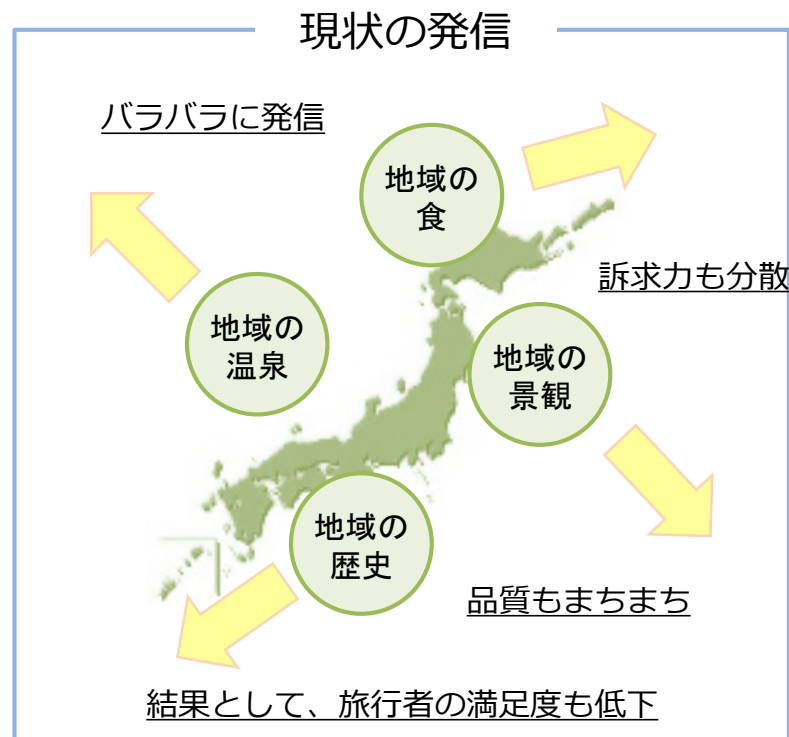
「食と農の景勝地（仮称）」イメージ

- ・ 地域マネジメント組織があり、地域の食・食文化を中核として、「食」を育んでいる気候、風土、景観、歴史などの観光資源と一体的に「景勝地」を形成することで、その「食」を訪ねること自体が観光目的としての価値を有する取組を認定



○「食と農の景勝地（仮称）」とは

- 多様な資源（食、温泉、歴史・文化、景観等々）を集めること（キュレーション）で付加価値を高め、訪日外国人旅行者に多様な「本場の食」をわかりやすく訴求する旅の仕組みを創設する。これにより、インバウンド需要を地方へと取り込み、地方創生へとつなげていく。



「食と農の景勝地（仮称）」のポイント

「食と農の景勝地」の要件（案）

- ① 「食」コンテンツの存在
- ② 「食」と地域の強い絆
- ③ 「食」を楽しめる環境（受入体制）
- ④ 「食」等の品質管理をする地域協議会

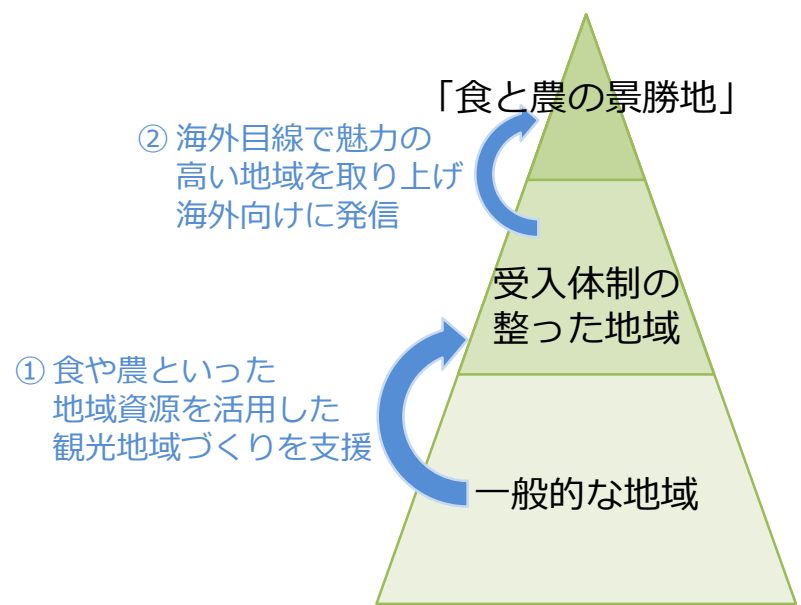
「食と農の景勝地」の効果

- ・ 国が「地域の食」を一括して海外へ発信
- ・ 「本場の食」が楽しめる場所がわかりやすい
- ・ 「食」の品質が担保され、旅行者の満足度向上
- ・ 地域が一体的に取り組むための動機づけ・求心力

○「食と農の景勝地（仮称）」施策概要（検討中）

- 各地に存在する「地域の食」の魅力をより効果的に発信するため、海外目線で魅力のある地域を「食と農の景勝地（仮称）」と称して紹介することで、訪日外国人旅行者を地方へと誘導するとともに、景勝地の取組を通じて、「地域の食」の継承・発展を促していく。

「食と農の景勝地（仮称）」の位置づけ



認定要件の考え方（要件のイメージ）

形式的要件

- ① 「地域の食」の存在
 - 観光資源として「地域の食」を活用していること
- ② 食と地域の結びつき
 - 活用している「地域の食」が地域と強い結びつきがあること（景観や歴史等）
- ③ 受入体制の整備
 - 旅行者が「地域の食」を楽しめる環境（飲食店、宿泊施設等）が整っていること
- ④ 地域協議会の存在
 - 地域の将来展望の共有や「地域の食」や受入体制の品質管理を行う協議会があること

質的要件

- ① 地域の将来展望
 - 景勝地としての長期的な展望（ビジョン）や目標があること
 - 地域にPDCA管理を行う能力があること
- ② 持続可能性
 - 景勝地の取組を通じて地域の「食と農」を維持・改善し、取組全体の持続可能性が考慮されていること

「食と農の景勝地（仮称）」に取り組む意義

国の日本食・食文化発信政策としての意義

- 「地域の食」と日本食・食文化の魅力発信関連施策との連携強化
 - 「地域の食」の魅力をわかりやすく海外に発信可能になる
 - 日本の食材や郷土料理等を学びたい料理関係者・学識者等の研修のモデルコースとして活用

「食と農の景勝地」となる地域にとっての意義

- 海外向けのPR強化（インバウンド需要の取込強化）
 - 国の日本食・食文化の魅力発信の施策で「食と農の景勝地（仮称）」として紹介されることにより、食をテーマとした観光ルートが形成され、地域を訪れる外国人旅行者が増加
- 地域食文化の継承と進化
 - 食をテーマとして明定することで、食文化の国際交流が促進され、「地域の食」の継承や新たな魅力の発見による進化に貢献